

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： Design Thinking for Facilitating Data Annotation and Machine Learning

2. 個人研究者名

張 家銘（東京大学大学院情報理工学研究科 特任講師）

3. 事後評価結果

機械学習の根幹を成す学習データのメタデータ付与に着目し、クラウドワーカなどが高速かつ正確にメタデータを付与するための、ユーザインタフェースやインタラクションデザインの在り方を探求する、極めて独自性の高い研究に取り組んだ。いくつものアプリケーションツール構築を通して課題を明らかとしながら、より高度なメタデータ付与作業の支援に取り組むという研究プロセスは、当該研究課題には適切なアプローチであったと考えられる。査読つき国際会議に6本採択されるなど、積極的に対外発表に努めたことも高く評価できる。構築したサービスを公開するなど研究成果を社会展開していくことが今後期待される。